



雁歌学報

宮城県伊具高等学校
〒981-2153 伊具郡丸森町雁歌51
電話 0224-72-2020 FAX 0224-72-1322
ホームページアドレス <http://igu.myswan.ne.jp/>

秋も深まり、晴れた朝には霜が降りるようになってきました。いよいよ師走、今年も残すところ1ヶ月です。ただ、学校は4月始まりのカレンダーで動いていますので、今は後期の前半といったところです。本校では前期2回、後期2回の定期考査がありますが、先日3回目の定期考査を終えました。定期考査は生徒にとって乗り越えなければならないハードルでもあり、自分の評価を高めるチャンスでもあります。生徒たちは今回も自分の将来のために、必死に頑張っていました。考査が苦しいと感じるのは、自分の人生に真剣に向き合っている証拠です。最終日の最後の試験が終わった後、生徒たちが見せるなんとも言えない表情は、何か困難な事に挑んだ者だけが感じることでできる清々しい開放感の表れだと思います。生徒たちにはこれからも自分の人生と真剣に向き合い、どんな事からも逃げずに歩いて行って欲しいと思います。

さて、今年は3年ぶりに修学旅行に行ってくることができました。昨年、一昨年の子供たちの残念な表情を思い出すと、今年は本当に良かったと思うのと同時に、修学旅行はやはり大きな意味のある行事なのだなど、旅行中の様子を聞くにつれ改めて感じさせられます。コロナはまた増えて参りましたが、マスク着用などの基本的な感染対策をとりながら、教育活動を継続して参りますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

☆ 3年ぶりに公開文化祭を行いました！！

10月28、29日に、文化祭が行われました。本年は久しぶりの2日間開催、限定的ではありますが、3年ぶりの一般公開、全クラスのクラス展とほぼ通常通りの規模での開催ができました。生徒向けのアンケートから、生徒の様子をお届けします。

【1年次】

「初めての文化祭で不安なこともあったけど、クラスみんなで協力して作った展示に、沢山の人来てもらえて自分たちもうれしかったし、楽しむことができました。先輩方のステージ発表も、すごく見ていて楽しかったし、盛り上がっていたのでよかったです。」



【2年次】



「文化祭実行委員を始め、ステージ班、クラス展示など沢山の役割があり、大変で忙しかったけど、2日間行うことができ、とても楽しく充実した文化祭を過ごすことができました。みんな盛り上がってくれたので、嬉しかったです。来年もラストの文化祭、楽しみたいと思います。」



【3年次】

3年生にとっては、最後にして初めての通常の文化祭でした。「文化祭の準備に時間をかけて、良い物が出来たと思いました。有志の人達もいて、盛り上がったと思うし、高校最後にしかり文化祭を行うことができ、良い思い出になりました。」

展示では、3年2組、3組合同のお化け屋敷が最優秀賞となりました。

「今までお化け屋敷をやったことがなかったので、しかも、2組と合同というのも、初めはどんな感じになるか不安でした。準備も大変で、それぞれ意見が合わなかったこともあったけれど、みんなで協力して最高のクラス展示を作れたので、思い出に残る文化祭になりました。」



初めて尽くしの文化祭でしたが、思い出になる時間を過ごせた様子でした。来年は、制限なく、さらに充実した文化祭ができることを願っています。

農業クラブ & 家畜審査全国大会

【農業クラブ】

「3年・吉田航平」

私は今回、初めて農業クラブ全国大会に出場しました。これまで出場してきた県大会とは違い、参加者がとても多く、全国大会の規模の大きさを実感しました。

大会式典では、意見発表会やプロジェクト発表会の最優秀賞の発表を聞くことができました。課題を決めてからの行動力の高さがとても印象に残っています。

私は、農業鑑定という知識を競う競技に出場しました。結果、惜しくも入賞することはできませんでしたが、12月にあるプロジェクト発表の県大会に向けて、今回学んだことを活かし、悔しさをバネに頑張っていきます。



【家畜審査競技会】

10月6・7日に鹿児島県霧島市において全国和牛共進会和牛審査競技会が行われました。全国和牛共進会は5年に1度行われる和牛のオリンピックとも呼ばれ、全国から各県代表の畜産家が集う大会です。その中で良い牛を見極める技術を競い合うのが家畜審査競技です。宮城県の代表として勝ち上がった本校3年生の齋藤優愛さんが出場し、全国の代表38名と競いました。結果は惜しくも入賞できませんでしたが、総合評価が正解しているなど健闘しました。大会の中で宮城県の畜産家や協力いただいた宮城県全農さんの応援もあり貴重な体験をさせていただきました。この経験を糧に、齋藤優愛さんの今後に活かしてあげたいと思います。

〇部活動近況報告 文化部編

※運動部の活動報告は次号で掲載します。

【科学部】

仙台市青年文化センターで行われた宮城県高等学校生徒理科研究発表会に、科学部の代表5名が参加しました。発表タイトルは「カイコのエサの違いによる生育の差～人工飼料と伊具高のクワの葉～」でした。かつて伊具高校が農蚕高校だった頃に蚕実習を行っていたこともあり、今回の研究に至りました。半年間の飼育・観察の研究の成果をポスターにまとめ、審査員や聴衆に堂々と発表しました。質疑応答や他校の生徒との意見交換を通し、次の研究への意欲を高めていました。

3年・目黒太洋さん「自分達なりの発表をできてとても良かったです。他校の発表を見て自分達の知らない事を学ぶことができました。」

1年・佐藤拓真さん「発表できてよかったです。ほかの学校の発表を聞いて参考になることがあり、自分も成長できたと感じられました。」



【吹奏楽部】

吹奏楽部は10月20日に岩沼市民会館で行われた仙南高等学校音楽発表会に参加してきました。今回は「一途」、「新宝島」、「Paradise Has No Boarder」の3曲を演奏してきました。練習の成果を十分に発揮することができ、他校からもたくさんの好評をいただきました。一部を紹介したいと思います。

- ・「吹奏楽で演奏される『一途』はまるでジャズのおしゃれで聞いていて心が躍るような演奏でした。トランペットとチューバのハーモニーがとてもきれいでした。」
- ・「ソロが堂々としていてかっこよかった。」
- ・「楽しそうに吹いていたので見ているほうも楽しくなってきました。」

などたくさんの好評をいただくことができたのでこれからも練習に励んでいきたいです。

～ 私が伊具高生だった頃 ～ 宮城県立船岡支援学校教諭 鈴木英晴

次郎太郎を望み見て私は3年間母校に通った。その山に1学年全員で登頂することになった。運動音痴の私だがその山行が何故か楽しみだった。絶頂から、阿武隈川は洋々と信達平野を潤し、遥かに高く噴煙をたなびかせた吾妻連峰から安達太良にかけての山並みが秋の日差しを浴びて輝いているのが見えた。私は母なる山に登った満足感と快い疲労感を味わいながら母校にたどり着いた。しかし、そこでは地獄のような部活動が私を待っていた。

※この学校通信は本校ホームページにも掲載されています。本校HP：<https://igu.myswan.ed.jp/>